

委員からの事前意見取りまとめ表  
(平成27年度評価)



評価単位		意見	委員
第1-1(1)A	地域に対応した多様な森林管理技術の開発	低コスト再造林システムの提案に向けて、トータルコストを最大35%低減できることを示すことができた。	酒井
		年度計画に沿って取り組みが実施されておりBは妥当と考える。北方林において天然更新の可能な条件が明らかになったのは大切な一歩と考えられる。	中山
第1-1(1)B	国産材の安定供給のための新たな素材生産技術及び林業経営システムの開発	コーディネート組織の構築は急務であるが、日欧の比較研究を通じて課題を明らかにし、林野庁事業にも貢献することができた。	酒井
		年度計画に沿って取り組みが実施されておりBは妥当と考える。国産材の安定供給のために欠かせない林業経営システムである。立地条件が日本各地でバラバラであろうから、たとえば傾斜地などでも対応できるようにお願いしたい。	中山
第1-1(2)C	木材の需要拡大に向けた利用促進に係る技術の開発	パーティクルボードのJIS規格改正に貢献し、また、ヤマトシロアリの野外分布の制御の発見は、今後の国産材需要拡大に大きな成果をもたらした。乾燥コストの低減について引き続き、研究をすすめられたい。	酒井
		年度計画である構造用パーティクルボードの開発および品質管理手法を確立し、さらにこれら成果をもとにJIS規格改正に尽力したことから、A評価が相当と考える。	田村
		自己評価はBでは？ しかし、評価はAでよい。なぜならば、森林総研ならではの成果(たとえば、CLTを建築基準法に反映させるなど)を挙げているからである。	中山
第1-1(2)D	新規需要の獲得に向けた木質バイオマスの総合利用技術の開発	小規模木質バイオマス発電施設のビジネスモデル提言は時宜を得たものであり、WPCに対するオノエヤナギの添加剤の機能解明は成果をあげた。	酒井
		年度計画である改質リグニンの製造技術を確立し、さらに製造工程の効率化・低コスト化を実現したことから、A評価が相当と考える。	田村
		年度計画を上回る成果を上げておりAは妥当と考える。たとえば、セルロースナノファイバーの実証試験について、実用化を見越して多くの機関と共同で研究を進めていることは評価されよう。	中山

注) 中山委員については、更新前の自己評価結果に対する御意見となっています。P2～8も同様。

評価単位		意見	委員
第1-1(3)E	森林への温暖化影響評価の高度化と適応及び緩和技術の開発	枯死木の分解過程に関する成果は、1(1)Aのスギ天然更新に応用できるのでは。	酒井
		年度計画を当初計画通りに達成したと評価でき、B評定が相当と考える。	田村
		自己評価はB、外部評価もBBであり、政策的に大きく貢献したことがこの報告書ではわかりづらく、評定はBでもいいのではないと思われる。	中山
第1-1(3)F	気候変動に対応した水資源保全と山地災害防止技術の開発	気温上昇に伴う水資源賦存量の変化、渓流水の水質形成過程の成果は、国際的にも評価しうるものであり、Aに近い成果といえる。また、コンテナ苗のコンテナ形状の究明、竜巻等突風の分類基準に対する成果も所期以上といえる。	酒井
		年度計画に沿った取り組みをしておりBは妥当と考える。また、東日本大震災以降のセシウムの継続的なモニタリングとその結果の公開など森林総研ならではの研究も評価できる。	中山
第1-1(3)G	森林の生物多様性の保全と評価・管理・利用技術の開発	シカの集中捕獲、自動給餌器の開発、成果報告会の開催など、シカ害対策が大きく前進した。	酒井
		年度計画であるシカの捕獲システムを開発し、さらに成果報告会を開催したほか、糞の表面に付着した細胞のDNAを用いたシカとカモシカの簡便な識別法を開発するなど計画以上の成果をえたことから、A評定が相当と考える。	田村
		自己評価はBでは？しかし評定はAでよい。なぜならば、たとえば全国的に問題となっているシカ被害について研究成果を報告するだけでなく実用化を踏まえて各地での取り組みに反映させるなど、年度計画を超えた成果を上げていると思われるからである。	中山
第1-1(4)H	高速育種等による林木の新品種の開発	前方選抜の開発は大きな成果といえる。	酒井
		前方選抜の導入など、年度計画以上の成果を得たことからA評定が相当と考える。	田村
		自己評価も外部評価もB 評定もBでよいと思われる。前方選抜については報告書でそれほど力点を置いて説明されていないのでは？	中山

評価単位		意見	委員
第1-1(4)I	森林遺伝資源を活用した生物機能の解明と利用技術の開発	アカマツの遺伝的多様性の変化が加速しているという事実の発見は重要な知見である。	酒井
		すべての項目で順調に年度計画を達成しており、B評価は妥当である。	中山
第1-1(5)	研究基盤となる情報の収集・整備・活用の推進	基盤データの観測、モニタリングは重要な業務である。	酒井
		「主な参考指標情報」の数が減っているものがあるが、こういった情報は毎年のデータの積み上げではないのか？	中山
第1-1(6)	林木等の遺伝資源の収集、保存及び配布並びに種苗等の生産及び配布	計画通り 苗の生産や配布等が行われており B評価は妥当である。	中山
第1-2(1)	被保険者の利便性の確保	業務実施体制を整備し、円滑に事務を執行した。	酒井
		民間保険会社からの人材の確保など業務実施体制の整備が図られており、評価は妥当と思われます。	文野
第1-2(2)	加入促進	年度計画に沿った取組が実施されており、評価は妥当と思われます。	文野
第1-2(3)	金融業務の特性を踏まえた財務の健全性及び適正な業務運営の確保のための内部ガバナンスの高度化	森林保険センター国家資格等の取得に関する取扱要領を制定し、情報公開に積極的に取り組んでいる。	酒井
		年度計画に沿った取組が実施されており、評価は妥当と思われますが、法人が今後の課題としてあげているディスクロージャーの更なる充実に努めていただきたい。	文野
第1-2(4)	研究開発との連携	初年度に体制整備をすすめた。	酒井

評価単位		意見	委員
第1-3(1)ア	事業の重点化の推進	今後は衛星情報なども活用して、積極的な展開を期待しています。	徳地
第1-3(1)イ	事業の実施手法の高度化のための措置	計画の内容を達成した。	酒井
		チェックシート、研究開発との連携もきちんと行われていると思います。	徳地
第1-3(1)ウ	事業内容等の広報推進	調査結果を学会発表するとともに、事業内容等の広報推進に努め、定着化してきた。	酒井
第1-3(1)エ	事業実施コストの構造改善	今後も設定(15%?)については慎重に検討してください。	徳地
第1-3(2)ア	計画的で的確な事業の実施(特中・農用地)		
第1-3(3)	廃止・完了後の事業に係る債権債務管理、その他の債権債務及び緑資源幹線林道の保全管理業務の実施	債権債務の徴収および償還等の業務を確実に行った。	酒井
第1-4	行政機関、他の研究機関等との連携及び産学官連携・協力の強化	建築研究所との共同研究成果により、CLTに関する建築基準法に基づく告示の早期制定に寄与した。	酒井
		感想ですが・・・この項目ではないのかもしれませんが、日本を代表して他国の研究機関と交流などを実際しているのですから、どこかにそういうことも記載されるのもよいかと思いました。	中山
第1-5	成果の公表及び普及の促進	年度計画を達成した。	酒井
		たとえば当初目標の研究員一人当たり1報以上をクリアしており、B評価は妥当であろう。	中山

評価単位		意見	委員
第1-6	専門分野を活かしたその他の社会貢献	社会貢献を果たしているといえる。	酒井
		社会貢献の範囲がグローバル化しており、評価できる。	中山
第2-1	効率化目標の設定等	コスト意識の徹底に努めている。	酒井
		数値目標が全て達成されており、評価は妥当と思われます。	文野
		効率化は重要であるが、手続きが煩雑になりすぎないようにお願いしたい。	中山
第2-2	資源の効率的利用及び充実・高度化	試験林の見直しに努め、森林保険センターを計画どおりに設置した。	酒井
		年度計画に沿った取組が実施されており、評価は妥当と思われます。	文野
		研修受講者数（研究開発）が大幅に減少したのは？また、コンプライアンス関連のどこかに、剽窃防止への取り組みなども記載されてはいかがか？	中山
第2-3	契約の点検・見直し	年度計画に沿った取組が実施されており、評価は妥当と思われます。	文野

評価単位		意見	委員
第2-4	内部統制の充実・強化	今年度も引き続き、内部統制の充実・強化に努めている。	酒井
		事故後、セキュリティなどへの意識向上に取り組まれている。	徳地
		重点リスクを設定し内部統制を充実・強化していくことは効果的であり、評価は妥当と思われます。	文野
第2-5	効率的・効果的な評価の実施及び活用	年度計画に沿った取組が実施されており、評価は妥当と思われます。	文野
		外部からの評価は 一般の研究員に届いているのだろうか？	中山
第3-1(1)	業務の効率化を反映した予算の作成及び運営	数値目標が達成されており、評価は妥当と思われます。	文野
第3-1(2)	自己収入の拡大に向けた取組	自己収入の拡大に向けて、競争的環境の中で目標を達成している。	酒井
		年度計画に沿った取組が実施されており、評価は妥当と思われます。	文野
第3-2(1)	保険料率及び積立金の妥当性の検討	長期的かつ安定的な運営を目指して、点検を実施し、検証結果をとりまとめた。	酒井
		年度計画に沿った取組が実施されており、評価は妥当と思われます。	文野
第3-2(2)	保険料収入の増加に向けた取組	保険料収入自体は減少しているものの、保険加入に向けた積極的な取組が実施されており、評価は妥当と思われます。	文野



評価単位		意見	委員
第3-3(1)	長伐期借入金等の着実な償還	着実な償還がなされていると思います。	徳地
		年度計画に沿った取組が実施されており、評価は妥当と思われます。	文野
第3-3(2)	業務の効率化を反映した予算の作成及び運営	人件費の削減などについては慎重に行ってください。	徳地
		年度計画に沿った取組が実施されており、評価は妥当と思われます。	文野
第4-3	短期借入金(水源林造成事業等)	年度計画に沿った取組が実施されており、評価は妥当と思われます。	文野
第5	不要財産の処分及び不要財産以外の重要な財産の譲渡に関する計画	不要財産の不要認定を適切に行った。	酒井
		年度計画に沿った取組が実施されており、評価は妥当と思われます。	文野
第7-1	施設及び設備に関する計画	震災改修など予定通りいかないことも多いと思いますが、将来を見越して実施してください。	徳地
		年度計画に沿った取組が実施されており、評価は妥当と思われます。	文野

評価単位		意見	委員
第7-2	人員に関する計画	新設した研究コーディネータが機能し、人材確保に努めた。	酒井
		年度計画に沿った取組が実施されており、評価は妥当と思われま	文野
		研究所の意思決定機関に女性がどの程度いるのか、教えてください。	中山
第7-3	環境対策・安全管理の推進	年度計画に沿った取組が実施されており、評価は妥当と思われま	文野
第7-4	情報の公開と保護	情報の保護、適正な取り扱いに努めた。	酒井
		年度計画に沿った取組が実施されており、評価は妥当と思われま	文野
第7-5	積立金の処分	年度計画に沿った積立金の処分が実施されており、評価は妥当と思われま	文野